2021年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名　　株式会社 オートバックスセブン　　上場取引所　東
コード番号　　9832　　ＵＲＬ　https://www.autobacs.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）小林 喜夫巳
問合せ先責任者　（役職名）経理・財務部長　　（氏名）高野 浩之　　ＴＥＬ　03-6219-8787
四半期報告書提出予定日　2020年11月６日　　配当支払開始予定日　2020年11月25日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切り捨て）

１．2021年３月期第２四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第２四半期	99,714	△10.2	3,583	△19.4	3,899	△17.0	2,363	△16.5
2020年３月期第２四半期	111,029	13.8	4,447	194.8	4,696	153.9	2,831	375.5

（注）包括利益　2021年３月期第２四半期　3,132百万円（17.3%）　2020年３月期第２四半期　2,670百万円（194.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第２四半期	29.60	―
2020年３月期第２四半期	35.40	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年３月期第２四半期	180,505	120,708	66.4	1,501.42
2020年３月期	172,799	119,966	69.0	1,493.43

（参考）自己資本　2021年３月期第２四半期　119,910百万円　2020年３月期　119,251百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	―	30.00	―	30.00	60.00
2021年３月期	―	30.00			
2021年３月期（予想）			―	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,800	1.1	7,600	0.2	8,100	0.5	5,500	46.1	68.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：　無
②　①以外の会計方針の変更	：　無
③　会計上の見積りの変更	：　無
④　修正再表示	：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期２Ｑ	84,050,105株	2020年３月期	84,050,105株
②　期末自己株式数	2021年３月期２Ｑ	4,185,755株	2020年３月期	4,199,076株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期２Ｑ	79,855,642株	2020年３月期２Ｑ	79,984,823株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法および四半期決算に関する質疑応答の開催について）

当社は、決算説明動画および、決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。また、決算説明会は開催いたしませんが、証券アナリスト・機関投資家向けの質疑応答を、オンライン形式で開催する予定です。